

しおんだより VOL.21



これ、何の機械かご存じでしょうか！？

マイナンバーカード。持っていらっしゃるでしょうか？私は、生来の「新しもの好き」の血が騒いで、今から、7年ぐらい前に、早々と作りました。

個人的には、住民票や印鑑証明がコンビニのコピー機でダウンロードすることができるので、平日の昼間に、わざわざ時間を作って市役所に行かなくてすむようになったので、めちゃくちゃ便利になりました。とはいうものの、そんなに毎日住民票が要るわけではありませんし、似たようなカードとしては健康保険証や運転免許証もあるので、なんとなく面倒くさいのが難点でした。

ところが、今はなんと、マイナンバーカードの中に、健康保険証のデータを登録することができるのです！驚きですね！どうやってそんなことをするのか？手続きはカンタンで、この写真の機械にマイナンバーカードを差し込むだけです。一度、紐付けてしまえば、あとは、マイナンバーカード1枚あれば、健康保険の情報などが正確に病院のシステムの中に読み込まれるようになります。

当院でも、早速、マイナンバーカードと保険証を「紐付け」することができるようになりました。最初は戸惑うかも知れませんが、色々便利になるようですよ！

マイナンバーカードを使えば、より良い医療を受けられる？

マイナンバーカードと健康保険証を紐付けることを、「オンライン資格確認」と呼びます。この仕組みを使えば、私たち医師が、その患者さんが別の医療機関でうけた診療内容や、薬局で調剤された薬剤の内容について知ることができます。

もちろん、現在でも医療機関から紹介状（診療情報提供書）をいただいたり、お薬手帳を見せて頂いたりしながら、どんな治療を受けておられるかを知ることができます。しかし、全員の方が持っているわけではありませんし、受けてきた診療や処方の内容が全て載っているわけではありません。

その点、この「オンライン資格確認」では、健康保険証を使ってうけた診療や調剤の内容を全て見ることができますので、その患者さんにより適した治療を行うことができるようになるのです。今ならポイントもつきますので、是非、活用してみてください！



あの懐かしい電話が、博物館で展示されていました！

先日、東京に出張する機会がありました。予定よりも会議が早く終わって、午後の時間がぼっかり空いたので、どうしようかなと思ったのですが、折角なので美術館に行こうと思い立ち、東京駅から山手線で15分ぐらいの上野駅まで行ってきました。関西人には、なかなか馴染みのない場所ですが、パンダのいる上野動物園や、恐竜の展示などもある国立科学博物館もあるためか、親子連れで結構賑わっていました。



博物館で飾られるようになったんですね…！

私は、喧噪を避けるように、比較的空いている国立東京博物館に入りました。中には、教科書で見たことのあるものがたくさん展示されていて、国宝の仏像も間近で見ることができて楽しかったです。ただ、一番驚いた展示物が、あの黒電話でした！いやはや…。(文責：狭間研至)

しおんだより 第21号 発行日：令和4年7月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: www.shion-hp.or.jp